

第 32 回 全国花のまちづくり恵庭大会 実施計画



令和 7 年（2025 年）8 月 6 日
第 32 回全国花のまちづくり恵庭大会実行委員会

目次

I 開催概要	1
1 大会名	1
2 開催意義	1
3 基本方針	2
4 開催テーマ	2
5 主催者	2
6 開催期日	2
7 会場	2
II 式典等	3
1 基本的な考え方	3
2 プログラムの概要	3
3 各プログラムの詳細	3
4 参加者募集期間	6
5 展示	6
6 実施体制	6
7 スケジュール	7
8 事業費	7
III 交流会	8
1 基本的な考え方	8
2 プログラムの概要	8
4 スケジュール	9
5 事業費	10
現地見学会	10
1 基本的な考え方	10
2 プログラムの概要	10
3 実施体制	12
4 スケジュール	13
5 事業費	13
V 広報	14
1 基本的な考え方	14
2 広報の手段	14
3 実施体制	15
4 スケジュール	15
5 事業費	16
VI 会場装飾等	16
1 基本的な考え方	16
2 会場装飾の範囲	16
3 実施体制	17
4 スケジュール	17
5 事業費	17

I 開催概要

1 大会名

第32回全国花のまちづくり恵庭大会

2 開催意義

恵庭市（以下「本市」という。）では、60年以上にわたり「花のまちづくり」に取り組んできました。これまで積み重ねてきたその歴史と実績は、令和4年（2022年）6月25日（土）から7月24日（日）まで開催された「第39回全国都市緑化北海道フェア（ガーデンフェスタ北海道2022）」を契機に改めて注目を集めています。

フェア終了後には、花の拠点「はなふる」を中心に、令和4年（2022年）に「ガーデンフェスタその後検討懇談会」から提出された提言「ガーデンフェスタその後事業の実施について」に基づく中長期的な新たな取組が展開されています。

このたび本市で開催する「全国花のまちづくり地方大会」は、こうした歩みと新たな活動の両面を全国に発信する絶好の機会であり、市民が北海道内外の市町村における先進的な事例を学ぶ場としても、非常に意義深いものと捉えています。本大会を通じて、さらなる「花のまちづくり」の発展に寄与するものと考えます。

【参考】フェア終了後の新たな取組

- ①花のまちづくりに関する相談対応、市民の「やりたいこと」と行政の「やるべきこと」との調整、啓発活動などを行う中間支援機能を担う施設として、「（仮称）恵庭市花と緑の文化センター」を創設
- ②行政・専門家・市民が協働し、花のまちづくりの現状を確認しつつ、今後の方向性を検討する機会を「恵庭花のまちづくり推進会議」の事業に加え、さらに「花のまちづくりプラン」のさらなる推進に向けた取組を展開
- ③花の拠点（はなふる）は、令和4年（2022年）に開催された全国都市緑化北海道フェアのメイン会場であり、「花のまち恵庭」のシンボルとして北海道内外における認知度が向上したことから、これを拠点とした市内周遊や道内の庭園周遊など、「花の観光・交流によるまちづくり（観光まちづくり）」の推進に向けた取組。

3 基本方針

- 60 年以上にわたり取り組んできた恵庭市の「花のまちづくり」の歴史や、花の拠点（はなふる）を中心に展開する新たな活動を全国に発信します。
- 全国における「花のまちづくり」に関する先進事例発表等を通じ、さらなる「花のまちづくり」を学ぶとともに、活動の重要性を再認識し、機運の醸成を図ります。
- 花の拠点（はなふる）や恵み野地区での「花」による市街地の整備状況など、施設面の取組を全国に発信します。
- 恵庭市が誇る花のイベント「恵庭花とくらし展」を通じ、全国各地で「花のまちづくり」に取り組んでいる参加者との交流を深め、さらなる活動の輪を広げます。

4 開催テーマ

「 ～はなふる恵みの庭～ いま、花のはなしをしよう 」

5 主催者

- 北海道恵庭市
- 第 32 回全国花のまちづくり恵庭大会実行委員会
- 花のまちづくりコンクール推進協議会

6 開催期日

令和 8 年（2026 年）6 月 27 日（土）、28 日（日）

7 会場

行催事区分	会場
式典、講演会、事例発表	恵庭市民会館 大ホール（恵庭市新町 10 番地）
交流会	花の拠点（はなふる）（恵庭市南島松 828 番地 3）
現地見学会	花の拠点（はなふる）（恵庭市南島松 828 番地 3） 恵み野地区

Ⅱ 式典等

1 基本的な考え方

- 「花のまちづくり」をテーマとした基調講演を実施し、活動の重要性を再認識するとともに、今後の取り組みに向けた機運の醸成を図ります。
- 本市の「花のまちづくり」の歴史や、花の拠点（はなふる）を中心に展開する新たな活動を全国に発信します。
- 本市および他市町村による「花のまちづくり」に関する事例発表を通じて、恵庭市民にさらなる学びの場を提供するとともに、次世代への活動の継承につなげます。
- トークセッションを通じて、市民の手による「花のまちづくり」のこれまでの歩みを振り返るとともに、今後の方向性について議論します。

2 プログラムの概要

プログラム	概要
式典	大会の開会式
講演会	「花のまちづくり」をテーマとした基調講演
事例発表	本市および他市町村による「花のまちづくり」に関する各種取組事例の紹介
トークセッション	市民とともに「花のまちづくり」の歩みを振り返り、今後の方向性を展望するトークセッション

3 各プログラムの詳細

（１）式典（オープニングセレモニー）

大会の開催に先立ち、関係者および一般参加者が参加する開会式を実施する。

①日時

令和 8 年（2026 年）6 月 27 日（土）13 時 15 分～13 時 35 分

②会場

恵庭市民会館 大ホール（恵庭市新町 10 番地）

③参加者

主催者、来賓、関係者および一般参加者（定員：約 600 名）

④内容

- ・ オープニングアトラクション（開式前の 13 時 00 分～13 時 10 分に実施）
- ・ オープニングセレモニー（主催者挨拶、来賓挨拶 等）



令和 6 年（2024 年）
全国花のまちづくり小松大会（石川県小松市）



令和 7 年（2025 年）
全国花のまちづくり牧之原大会（静岡県牧之原市）

（2）講演会

「花のまちづくり」をテーマとした基調講演を実施する。

①日時

令和 8 年（2026 年）6 月 27 日（土）13 時 40 分～14 時 25 分

②会場

恵庭市民会館 大ホール（恵庭市新町 10 番地）

③内容

- ・ テーマ：花のまちづくりに関すること（仮題）
- ・ 講 師：牧野 ふみよ 氏（予定）

④参加者

主催者、来賓、関係者および一般参加者（定員：約 600 名）

（3）事例発表

本市および他市町村で「花のまちづくり」に取り組む住民・団体、教育機関等による各種事例の発表（報告）を行う。

①日時

令和 8 年（2026 年）6 月 27 日（土）14 時 35 分～15 時 25 分

②会場

恵庭市民会館 大ホール（恵庭市新町 10 番地）

③内容

●発表 1：恵み野中学校の地域活動について（仮題）

発表者：恵み野中学校 / 発表時間：20 分

●発表 2：他市町村の取組（仮題）

発表者：北海道東神楽町 / 発表時間：20 分

●発表 3：（仮称）恵庭市花と緑の文化センターについて（仮題）

発表者：（仮称）恵庭市花と緑の文化センター設立検討会 / 発表時間：10 分

④参加者

主催者、来賓、関係者および一般参加者（定員：約 600 名）



令和 6 年（2024 年）

全国花のまちづくり小松大会（石川県小松市）

全国先進事例発表「奇跡のまちづくり」

恵庭花のまちづくり推進会議 会長 内倉真裕美氏



令和 7 年（2025 年）

全国花のまちづくり牧之原大会（静岡県牧之原市）

全国先進事例発表

特定非営利活動法人 田原菜の花エコネットワーク

（4）トークセッション

本市の「花のまちづくり」に取り組む関係者が登壇し、これまでの取組の経過や現状を共有するとともに、今後の展望について意見交換を行う。

①日時

令和 8 年（2026 年）6 月 27 日（土）15 時 30 分～16 時 30 分

②会場

恵庭市民会館 大ホール（恵庭市新町 10 番地）

③内容

- ・テーマ：恵庭の「花のまちづくり」の歴史と今後について
- ・登壇者：市内花関係団体の役員ほか、本市の「花のまちづくり」に関わりのある方々

④参加者

主催者、来賓、関係者および一般参加者（定員：約 600 名）

4 参加者募集期間

令和 8 年（2026 年）3 月 2 日（月）～4 月 30 日（木）

※式典等への一般参加、交流会、現地見学会のすべてについて、上記期間内に募集を行う。

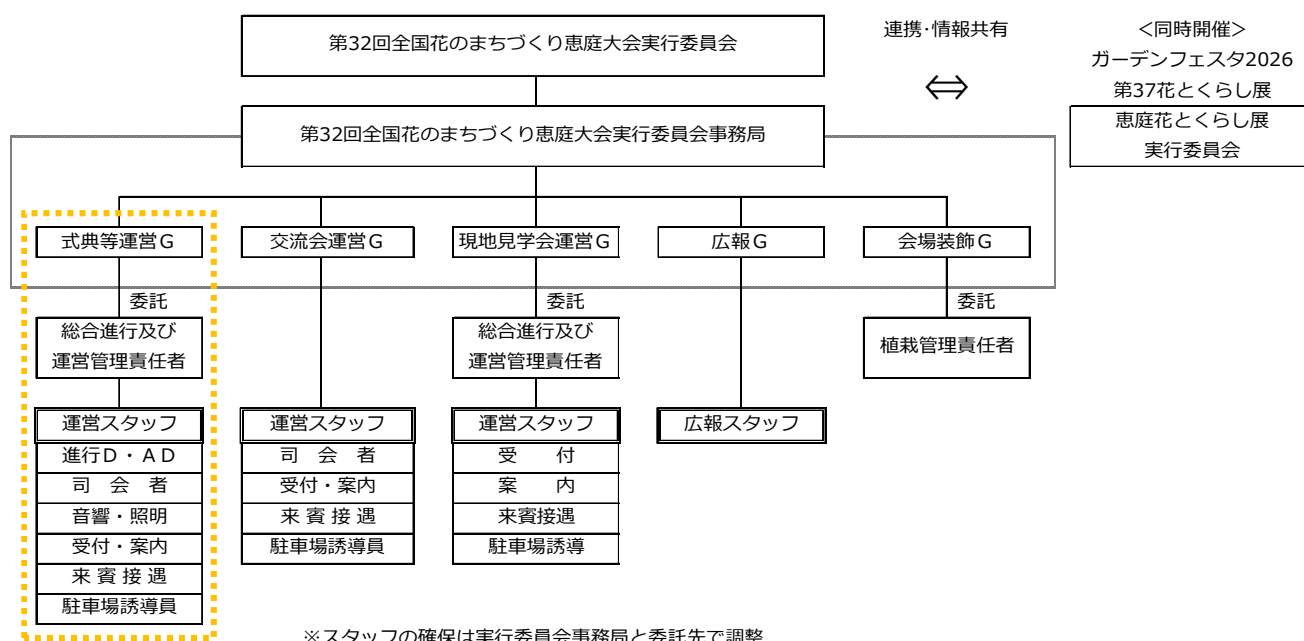
5 展示

式典等の会場となる恵庭市民会館内においては、来場者に本市の花のまちづくりの歴史や文化、そして現在に至る具体的な取組内容について広く知っていただくことを目的として、パネル展示を実施します。



（例）花のまちづくり歴史パネル（恵庭駅西口空中歩廊）

6 実施体制



7 スケジュール



8 事業費

歳出	式典等事業費					
		委託料	4,659,000	円	・ 式典等事前申込、事前進行管理経費および大会当日運営等	
		会場使用料	207,000	円	・ 恵庭市民会館使用料（前日/2日 59,380円×2日） ・ 備品使用料（87,345円）	
	合計		4,866,000	円		

Ⅲ 交流会

1 基本的な考え方

- 全国各地で「花のまちづくり」に取り組む参加者同士が、地域を越えて交流し、活動への共感や刺激を得る機会とします。
- 本市ならではの花の空間や景観の中で交流を深めることにより、参加者に本市の取組への理解と関心を高めてもらいます。
- 互いの経験や想いを共有することで、今後の活動の広がりや連携の可能性を育む契機とします。

2 プログラムの概要

(1) 日時

令和8年(2026年)6月27日(土) 18時00分～19時30分

(2) 会場

花の拠点(はなふる)
(恵庭市南島松828番地3)

(3) 定員

100名

(4) 参加費

6,000円/人

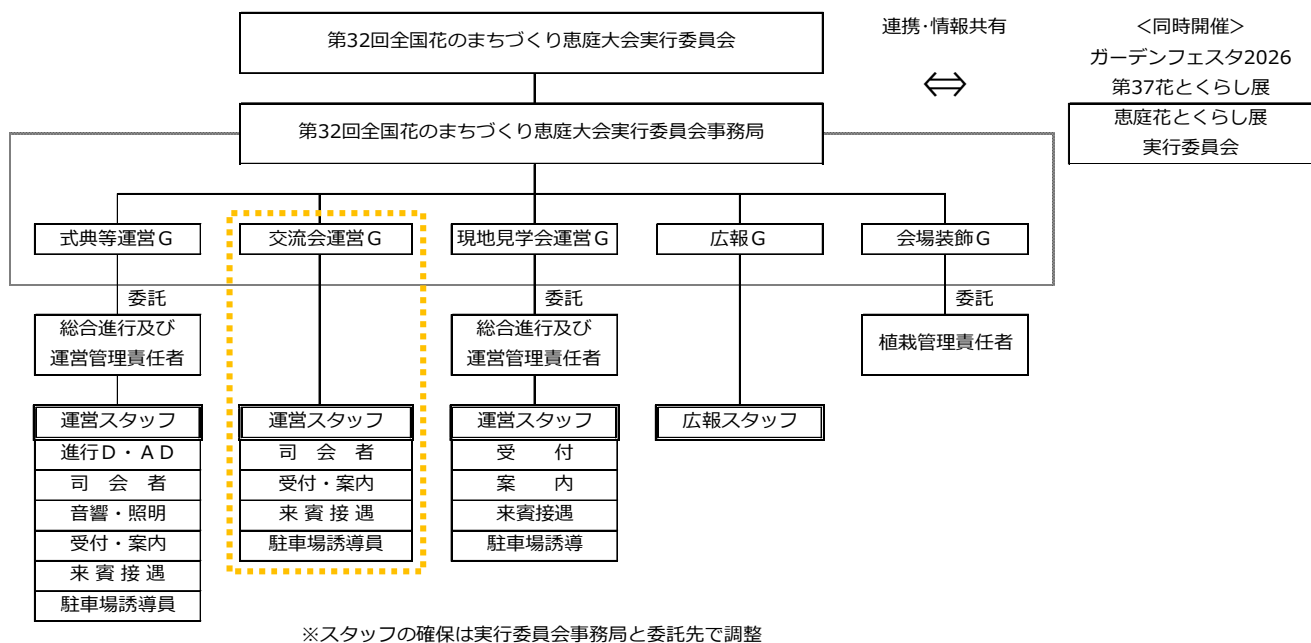
(5) 内容

- 歓迎アトラクションの実施
- 市内花関係団体による活動紹介
- 次期開催地によるPRほか

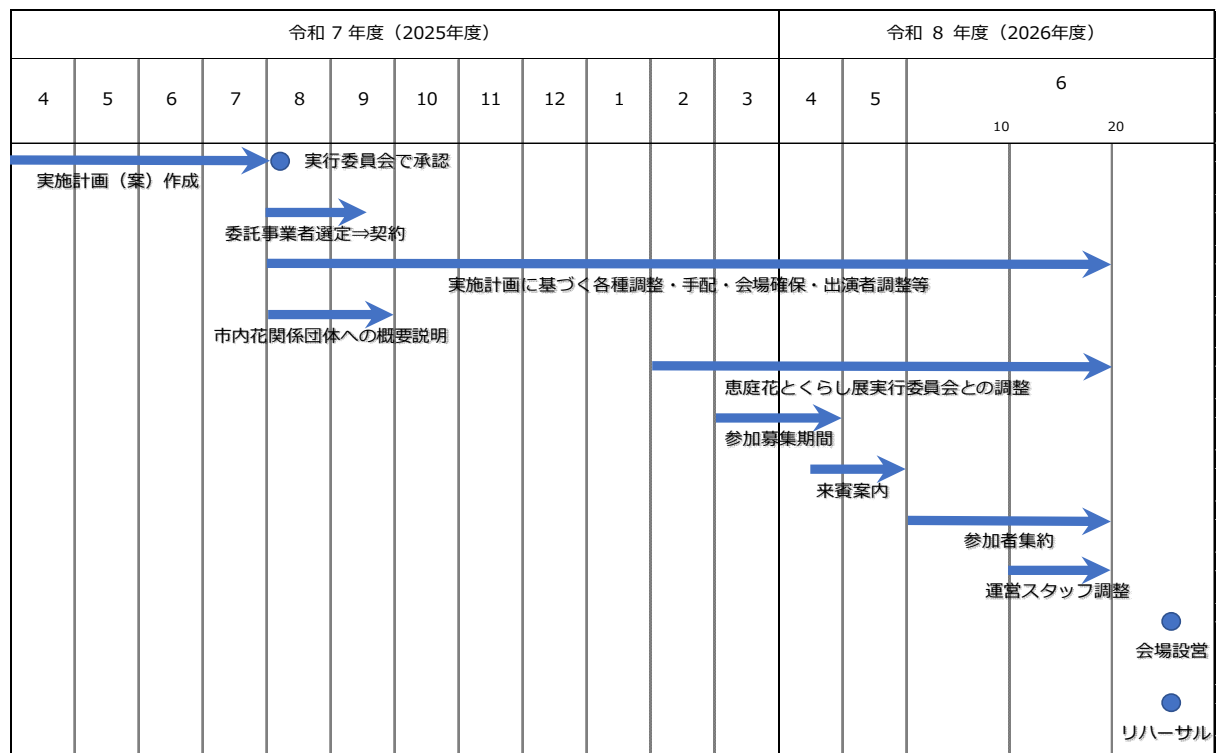


(イメージ) 花の拠点 はなふるでの交流会の様子

3 実施体制



4 スケジュール



5 事業費

歳出	交流会事業費			
	委託料	989,000	円	・会場設営・運営等
	食糧費	726,000	円	・交流会飲食費（6,000円×100名）
	賃借料	291,000	円	・参加者送迎等
	合計	2,006,000	円	

現地見学会

1 基本的な考え方

- 花の拠点（はなふる）や恵み野地区の「花さんぽストリート」、「オープンガーデン」など、市民と行政が連携して進める花によるまちづくりの取り組み状況を全国へ発信します。
- 恵庭市が誇る花のイベント「恵庭花とくらし展」を通じて、「花のまちづくり」に取り組む市民や団体の活動を全国に発信します。

2 プログラムの概要

（1）日時

令和8年（2026年）6月28日（日）9時00分～12時30分

- 9時00分 バス（恵庭市役所駐車場前）集合・出発
- 9時15分 バス（恵庭駅東口）集合・出発
- 9時25分 バス（恵み野駅東口）集合・出発
- 9時30分 花の拠点（はなふる）到着



はなふる
公式ウェブサイト



恵み野花マップ&
恵庭遊マップ 2025

10 時 30 分 7つのテーマガーデン見学



虹色の鳥



暮らしを恵む庭

10 時 30 分 花の拠点（はなふる）出発

10 時 40 分 恵み野地区到着

【Aコース】

10 時 40 分 花さんぽストリート見学



花さんぽストリート



花さんぽストリート

11 時 20 分 オープンガーデン見学



（例）オープンガーデン



（例）オープンガーデン

【Bコース】 ※B コースは、A コースとは逆回りのコース

10 時 40 分 オープンガーデン見学

11 時 20 分 花さんぽストリート見学

12 時 05 分 バス（恵み野駅東口）到着・解散

12 時 15 分 バス（恵庭駅東口）到着・解散

12 時 30 分 バス（恵庭市役所前駐車場）到着・解散

(2) 見学会場（コース）

- 花の拠点（はなふる）
- 恵み野花さんぽストリート
- 恵み野地区オープンガーデン

(3) 定員

70名（35名×2組）

(4) 参加費

2,000円/人

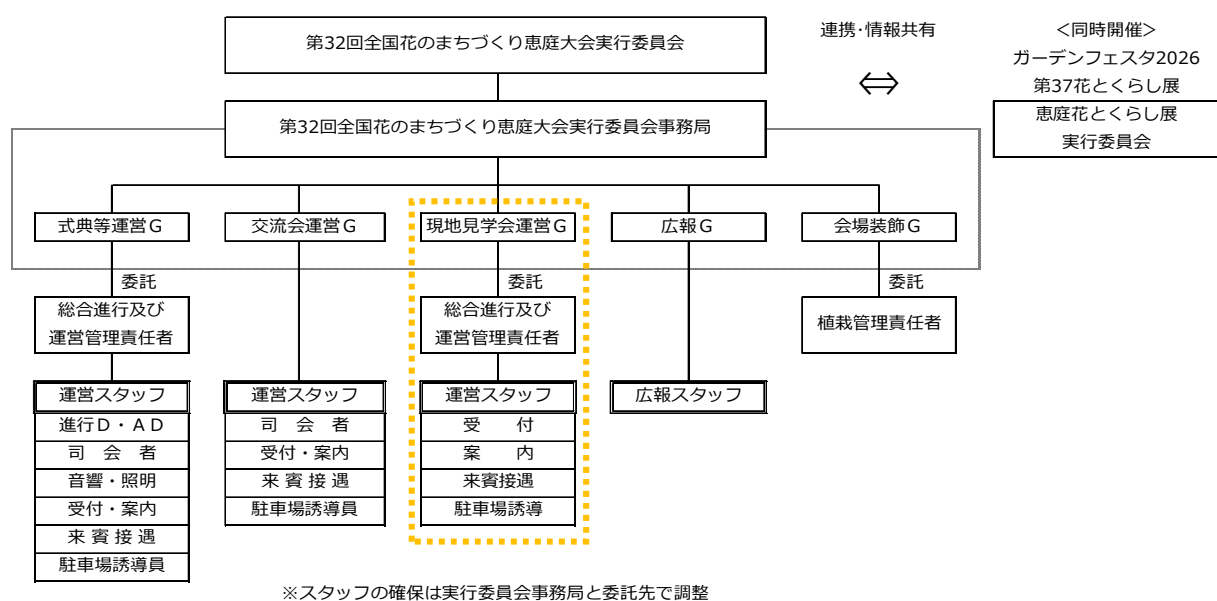
(5) その他

花の拠点「はなふる」の整備および管理に関して、行政職員を対象とした研修会を別途企画いたします。

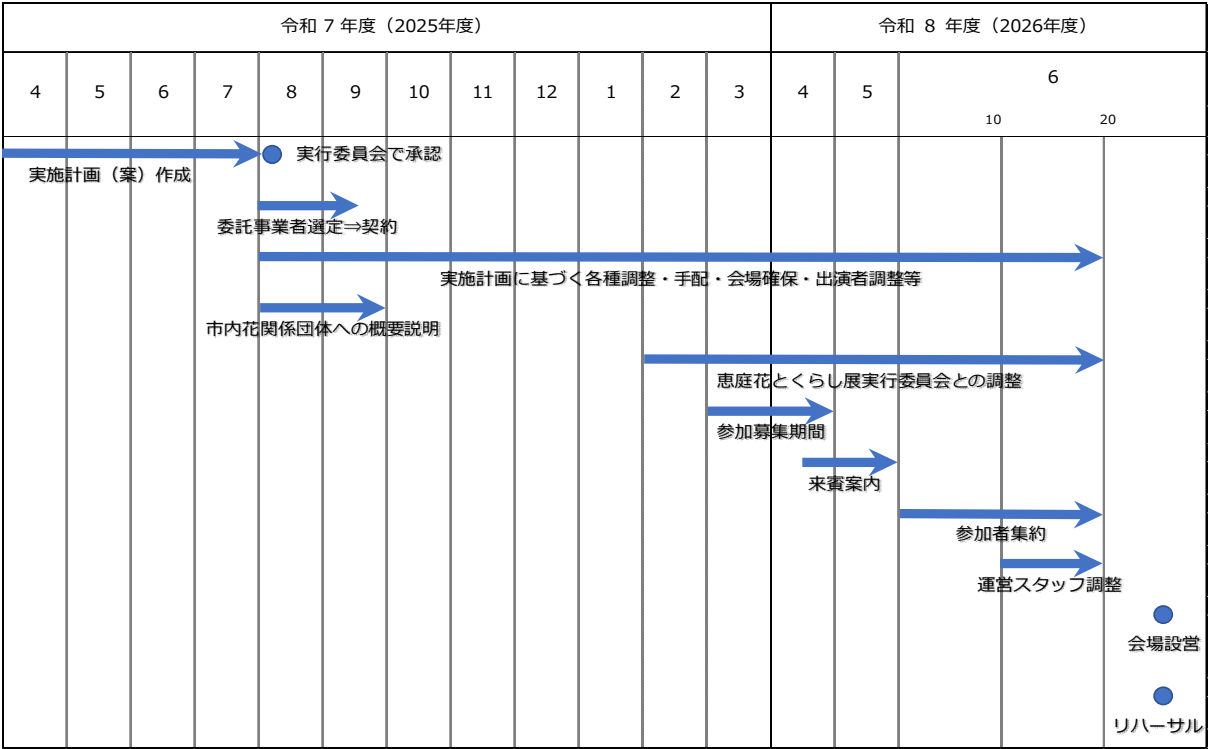
本研修会は、令和8年（2026年）6月27日（土）の式典開会前の時間に、花の拠点（はなふる）を会場として開催する予定です。

内容としては、設置管理許可制度や公募設置等管理制度（Park-PFI）などの具体的な事例を交えながら、多角的に学ぶ機会とします。

3 実施体制



4 スケジュール



5 事業費

区分	事業名／節	予算額	摘要
歳出	現地見学会事業費		
	報償費	30,000 円	・ガイド謝礼（3,000円×10名）
	委託料	460,000 円	・事前進行管理経費および当日運営経費
	合計	490,000 円	

V 広報

1 基本的な考え方

- 本大会の趣旨を深く理解し、その魅力を最大限に発信することで、市内外からより多くの皆様に積極的にご参加いただけるような広報活動を推進します。
- 恵庭市の公式ウェブサイト、広報誌、SNS など、市の多様な広報媒体を中核として活用します。
- 実行委員会に参画いただいている各団体や関係機関と密接に連携・協力し、それぞれのネットワークや情報発信力を最大限に活かした多角的な PR 戦略を展開します。
- 対象者層に応じた効果的な情報伝達を図り、大会への期待感を高め、最終的な参加者の大幅な増加を目指します。

2 広報の手段

本市およびさっぽろ連携中枢都市圏の市町村を中心に、北海道内外の皆様に対し、下記のとおり周知を進め、参加者の確保に努めます。

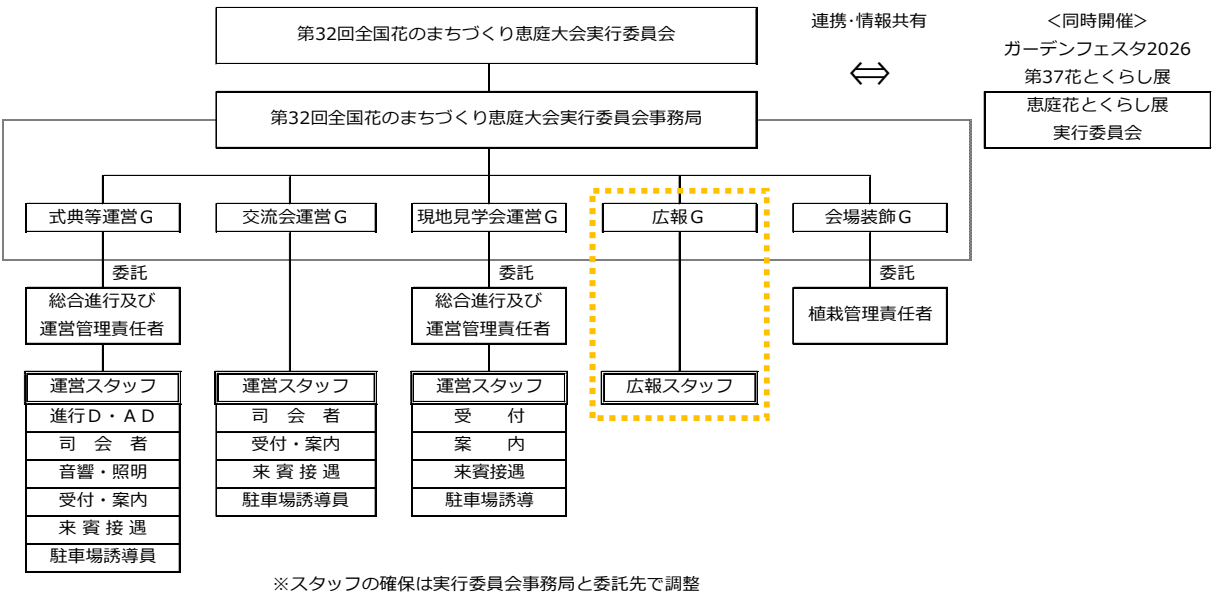
※さっぽろ連携中枢都市圏

より魅力的なまちづくりを目指して、札幌市と近隣 11 市町村（小樽市、岩見沢市、江別市、千歳市、恵庭市、北広島市、石狩市、当別町、新篠津村、南幌町、長沼町）によって形成されたのが、「さっぽろ連携中枢都市圏」です。

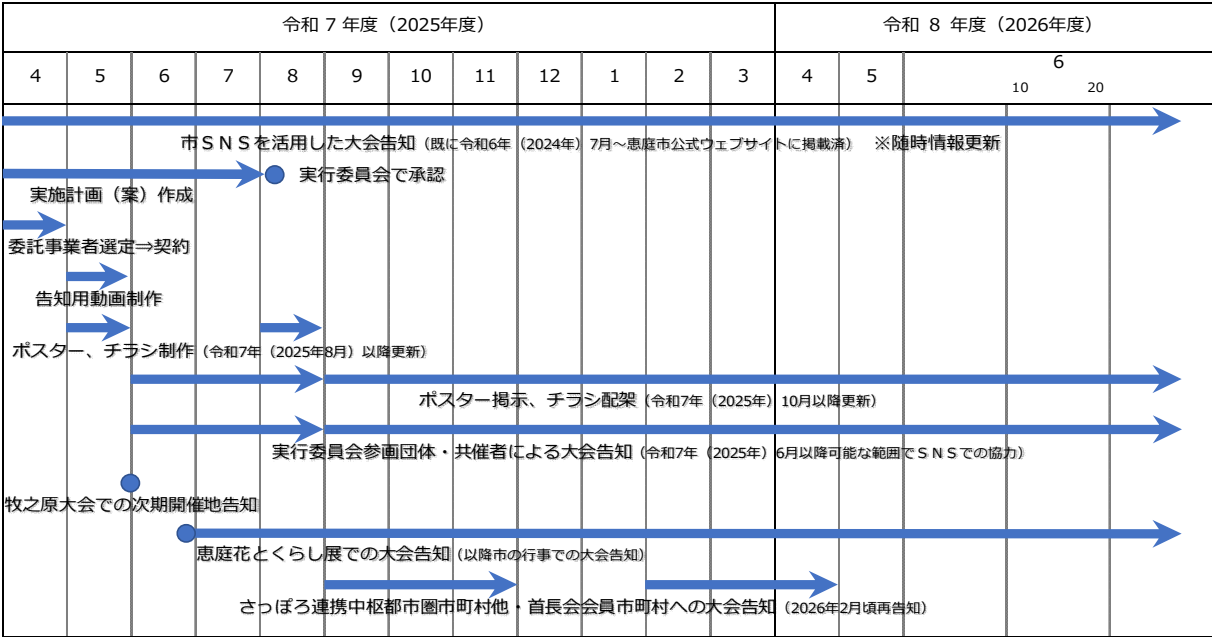
広報媒体	内 容
広報ツールの制作・活用	ポスター、チラシ、告知動画の制作と活用、花の拠点（はなふる）などにおける告知動画の上映
恵庭市の広報媒体等の活用	広報紙（広報えにわ）による大会周知、本市実施事業における大会周知、本市の公式ウェブサイトおよび SNS を活用した大会情報発信、地域 FM 放送（e-niwa）を通じた大会周知、市内公共施設等でのポスター掲示およびチラシ配架
花のまちづくりコンクール推進協議会との連携（協力依頼）	協議会の会員、事業、広報紙および所有する SNS を通じた大会周知

実行委員会参画団体との連携	各団体の会員、事業、広報紙、および所有する SNS を通じた大会周知
その他	さっぽろ連携中枢都市圏の他市町村へのポスター掲示およびチラシ配架依頼による大会周知、全国花のまちづくり首長会会員市町村へのポスター掲示およびチラシ配架依頼による大会周知

3 実施体制



4 スケジュール



5 事業費

区分	事業名／節	予算額	摘要
歳出	広報費		
	広告宣伝費	1,724,000 円	・各種印刷物制作および開催告知動画編集など
	合計	1,724,000 円	

VI 会場装飾等

1 基本的な考え方

- オープニングセレモニーのメイン会場となる市民会館をはじめ、現地見学会の会場、さらには「恵庭市公共施設花づくり基本指針（令和5年（2023年）3月）」に基づき各公共施設等の装飾を推進することで、来恵者の皆様をおもてなしいたします。



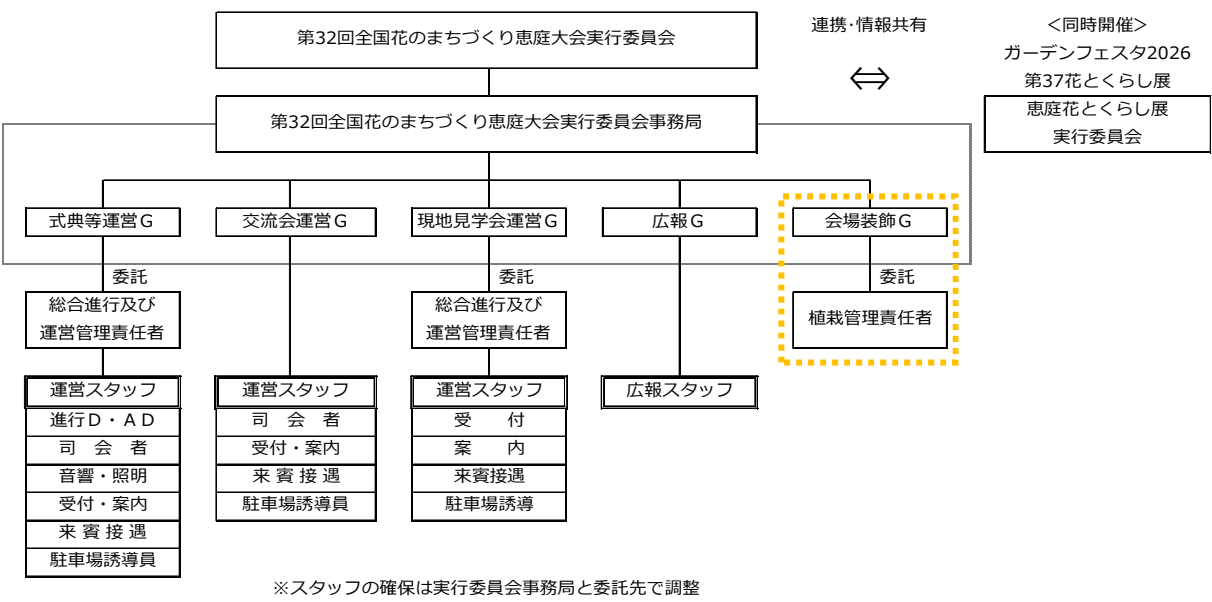
恵庭市公共施設花づくり基本指針
(令和5年（2023年）3月)

2 会場装飾の範囲

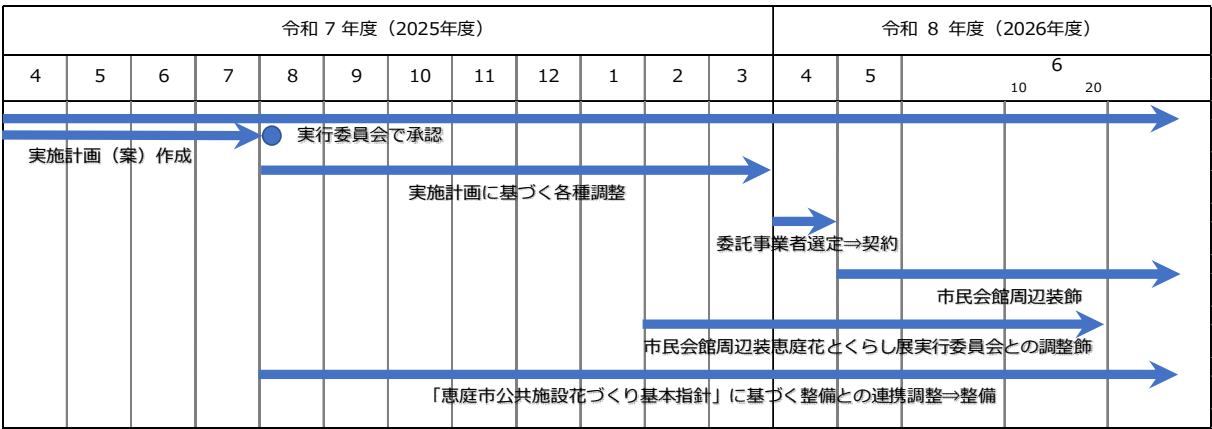
施設名	備考
恵庭市民会館	・メイン会場（大ホール入口周辺）
花の拠点（はなふる）	・花とくらし展 メイン会場 ・交流会 会場 ・現地見学会 会場
花さんぽストリート	・現地見学会 会場
恵庭市内各公共施設	・「恵庭市公共施設花づくり基本指針」に基づいた装飾実施



3 実施体制



4 スケジュール



5 事業費

区分	事業名／節	予算額	摘要
歳出	会場装飾費		
	会場装飾費	1,210,000 円	・ 式典会場等装飾
	合計	1,210,000 円	

第 32 回
全国花のまちづくり恵庭大会実施計画
令和 7 年（2025 年）8 月 6 日

第 32 回全国花のまちづくり恵庭大会実行委員会

事務局：恵庭市経済部花と緑・観光課

〒061-1498

北海道恵庭市京町 1 番地

TEL 0123-33-3131（内線 2525）

fax0123-33-3137

e-mail hanatomidori@city.eniwa.hokkado.jp